

小2～小5対象

竹進プログラミング教室 ご案内

いま、なぜプログラミングが必要なのか？



目次

- 1.竹進プログラミング教室の特長
- 2.いま、なぜ プログラミングが必要なのか
- 3.これからの大学入試

マイクラだから楽しい！

メイクコードを使うよ！

お話仕立てのカリキュラム

問題解決力が身につく！

職業選択の幅がグーっと広がる！



小2～小5対象

竹進プログラミング教室開講日時

| | 受講料(月額) | 月 | 水 | 金 | 土 |
|-----------|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| プログラミング教室 | 4,000円 | 16:20~17:10 | 16:20~17:10 | 16:20~17:10 | 16:20~17:10 |

* 上記料金に別途諸経費（設備維持費等）がかかります。

毎週土曜日 17:30～プログラミング説明会を開催しております。

説明会では、実際にマイクラを使ったプログラミングでのご体験ができます！

お気軽にお問い合わせ下さい。

竹園進学教室

TEL 029-851-9293 (代) 0120-851-923

FAX 029-851-2197

竹園進学教室では、小学生のお子様を対象にプログラミング教室を開講しております。

1. 今なぜプログラミングが必要なのか？

小学校でプログラミングの授業がすでに始まっています。

しかし、多くの保護者様がプログラミング教育の実体を知らず、学ぶ意義についても懐疑的です。保護者様どころか、学校の先生のほとんどがプログラミングについて理解していないのが実情です。

IT や AI の進化によって、それを制御するソフトの開発能力を身につけることが重要となっています。小学生のうちから、その基礎能力を養うというのがプログラミングを学ぶ直接的な理由です。

しかし、それだけではありません。

デジタルの世界は無限大です。その世界を学ぶことは、子どもの自由な発想や思考力を大いに刺激します。数学や算数の学問は、ただ一つの答えを導き出す力を身に付けることでした。

しかしプログラミングには、個人の発想と工夫によって無限大の答えが用意されています。

プログラミングは、お子様の未知なる可能性を引き出し、未来を広げる力があるのです！

しかし、学校現場では、与えられたカリキュラムを消化するだけで四苦八苦しているのが現状です。日々の業務や指導で多忙な先生たちに、英会話もプログラミングの指導も加わったわけですから。

さらに、厳しい現状があります。

次に続きます。



2.これからの大学入試

2022年度からの新しい学習指導要領では、すでに「**情報Ⅰ**」が**必修化**され、授業として行われています。

2024年度以降に行われる大学入試共通テストにおいて、「**情報**」という教科が新設されます。

「**教科**」というところがポイントです。大学入試における「教科」というのは、主要教科「国語」「数学」「外国語」「理科」「地理歴史」の5教科、さらに「公民」を加えた6教科が現行の仕組みとなります。この教科と同等に扱われる「情報」が導入されるということなのです。

「5教科(+公民)」と並ぶ存在になるという時点で、いかに大きな変化かご理解いただけることと思います。

「情報」を「教科」として導入するのではなく、ひとつ下の「科目」として導入し、公民や数学の中に入れてしまう可能性もありました。しかし、今回の見直し案では、情報を「教科」として扱い、7教科体制にしていくという大きな変化となり、国がいかに「**情報**」を重視しているかが伺えます。

教科「情報」が導入されることにより、大学側の学部学科にも大きな影響を与えることとなります。

いままでの入試では、例えば、数学と英語でよい点数を取れば、情報系の知識がほぼ「ゼロ」、パソコンもあまり触ったことがない生徒でも入学できてしまう仕組みです。しかし、4年間でプログラミングをゼロから教えるようでは、高度なスキルを持つ人材を育てることは厳しく、大学側も情報系の学部にも力を入れにくい状況でした。

しかし、今後は「情報」という教科が生まれることによって、大学側はゼロスタートではなく、「**すでに高度な基本知識やスキルを持った学生**」を募ることが可能になるのです。

その結果、高い研究結果を出すことや、企業の最前線で活躍する学生や卒業生を輩出することが可能となります。

そのため、これからのIT・AIの分野が進化発展する世界の中で、この領域に力をいれ、大学の強みにしていこうと考える大学が増えてくることが予想されます。

実社会で役立つ要素の強い「情報」は注目される教科なのです。

「プログラミング教室に通ってれば、教科「情報」対策に即対応可能です！」とは、言えません。しかし、「**幼少期における学びの基礎**」としての価値があることに間違いはありません。

いつ、どんなタイミングで、「学びのきっかけ」に出会うかは、誰もわかりません。しかし、出会いと経験がなければ「学び」は生まれません。

ぜひ、竹園進学教室で「**学びのきっかけ**」をご体験ください！

次ページより当塾プログラミング教室の特長をご説明致します。

共通テスト 21科目に 数学や地歴再編 教科に「情報」 刷新素案

大学入試センター試験に3割減らす素案をまとめた。国語や外国語などと並ぶ新たな教科「情報」を追加した上で、数学、地理歴史、公民、理科の科目を再編する。大学や高校の意見を踏まえ、年度内に取りまとめる方針だ。

22年度から高校の新学習指導要領が順次実施されるのに合わせた再編で、現在の中学2年生が最初に受験する世代となる。

素案では、数学は「数学I」「数学A」と「数学II」を継続し、「数学II」を新設して3科目とする。受験者の少ない「数学II」(簿記・会計)「情報関係基礎」は外す。地理歴史と公民は現行の計10科目から、「歴史総合」「地理総合」「公共」を組み合わせた科目を新設するなどして計6科目とする。理科は物理基礎や化学基礎など「基礎」のつづき4科目を1科目にまとめる。

新教科「情報」は、プログラミングなどを学ぶ「情報I」の内容が出题される。コンピュータで出題・解答する方式(CBT)が検討されたが、通信環境などの課題が残るとして、マークシート方式とする。

〈関連記事29面〉

「情報」大学に活用促す 共通テスト 政府 AI分野重視

2025年以降の大学入試共通テストに新教科「情報」が加わり、出題科目数は現行の6教科30科目から7教科21科目に再編される見通しとなった。政府は「情報リテラシーは従来の『読み、書き、そろばん』に近い基礎学力の一つとなっている。入試で、早めに問題傾向を示してほしい」と求めた。

リクルート進学総研の小林浩所長は「情報リテラシーは従来の『読み、書き、そろばん』に近い基礎学力の一つとなっている。入試で、早めに問題傾向を示してほしい」と求めた。

2025年以降の大学入試共通テストに新教科「情報」が加わり、出題科目数は現行の6教科30科目から7教科21科目に再編される見通しとなった。政府は「情報リテラシーは従来の『読み、書き、そろばん』に近い基礎学力の一つとなっている。入試で、早めに問題傾向を示してほしい」と求めた。

| 現行 | 2025年から |
|--|--|
| 教科 世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治経済 倫理、政治経済 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 | 教科 歴史総合、世界史探究 歴史総合、世界史探究 歴史総合、日本史探究 地理総合、地理探究 地理総合、歴史総合 公共、倫理 公共、政治経済 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 |

※大学入試センターの素案などを基に作成

プログラミング教育でHP作成取り組む つくば市の中学で公開授業

高山学園つくば市立高山中学校(若山隆男校長、生徒数264人)の1次校長SDG5プログラミング教育の授業が、このほど公開された。来年度からの必修化に先駆け、2018年からプログラミング教育に取り組んでいるつくば市は、去る10月8日にライフステック(東京都港区)と経済産業省d.t.e.c.h.導入実証事業で協定を締結、同社は持続可能な社会の実現を学ぶツールとして実証校4校に教材を供給している。

今回公開されたのは8年生の技術系教科の授業。生徒一人ひとりがパソコンの授業になり、効果的な宣伝媒体としてのホームページ制作を行うというもので、どのようなデザインや機能があれば有効か、SDGsの視点をもちながらグループで話し合い、一人一台の端末を使ってホームページに機能を追加するためのコーディングを学んだ。授業を受ける予定。

けな水村瑛人さん(14)は「ゲーム感覚で知識が身につくのが楽しく達成感があった」と話し、朝井七海さん(13)は「パソコン作業は苦手だが、教材のAIにヒントをもらいながら楽しく学べた」と笑顔を見せた。同校は今後も教材(端末)を使った授業を実施し、年度末までに一人ひとりがオリジナルのホームページを完成させる予定。

コーディングを学ぶ生徒
=10月22日、高山中学校

* 読売新聞より

3.竹進プログラミング教室特長

特長① パソコンを使って学ぶ

近年、スマートフォンやタブレットの普及により、大学生でもレポートをスマートフォンやタブレットの音声認識機能で作っているほど、学生たちのパソコン離れが進んでいます。

しかし、社会人になると、パソコンのキーボードを操作して、様々なアプリケーションを使いこなす力が要求されます。そこで文科省が提唱している「生きる力（ビジネススキル）」を自然に身に付けさせるため、小学生のうちからパソコンに慣れ親しむことも目的としています。

特長② 授業動画と教室の先生によるダブルチューターシステム

動画視聴サイトの普及により、動画から様々な情報を入手することが出来ます。

それは子どもたちにとっても身近なもので、幼いうちからタブレットやスマホを使いこなし、動画を自由に検索したり、くり返し開き直したかったら巻き戻したりと自分で操作しています。

そういったことから、プログラミングも自分のペースで学習できるように動画で行います。もちろん教室には先生も常駐していますので、動画を見て分からないところなどは、先生がサポートします。動画で学習することは、企業研修などイーラーニングを取り入れられてきている現代社会において、これからの子どもたちに必要なスキルだと考えています。

特長③ 子どもたちに大人気の「マイクラフト」を使って学ぶ

多くの小学生が知っているマイクラフト®（以下：マイクラ）を使って、カリキュラムが組まれています。マイクラは大草原に、ブロックを組んで自分たちの街を作り上げるゲームとして人気ですが、当塾のカリキュラムは、独自で作った「ワールド」と呼ばれる世界をオリジナルで構築し、そのワールドを子どもたちがプログラミングを学びながら探検するストーリーになっているので、飽きることなく楽しみながら学ぶことが出来ます。



プログラミング詳しくはこちら



竹園進学教室

TEL 029-851-9293 (代) 0120-851-923

FAX 029-851-2197